

構造計算適合性判定を踏まえた 建築物の構造設計実務のポイント

目 次

第1章 モデル化と解析結果の妥当性

1-1	モデル化と応力解析結果の妥当性（その1：基本的なチェック）	1
1-2	モデル化と応力解析結果の妥当性（その2：耐力壁のモデル化と応力性状）	8
1-3	モデル化と応力解析結果の妥当性（その3：剛床仮定による変位拘束）	15
1-4	モデル化と応力解析結果の妥当性（その4：支点条件による変位拘束）	20
1-5	剛床仮定が成立しない場合の注意点	25
1-6	RC造二次壁の剛性評価	31

第2章 保有水平耐力計算における計算条件と D_s 関連事項の評価

2-1	荷重増分解析により保有水平耐力を計算する場合の層間変形角	37
2-2	応力解析や保有水平耐力計算における支点条件	45
2-3	保有水平耐力計算における崩壊形確認の意味と D_s 値の設定	54
2-4	RC造の保有水平耐力計算における脆性部材の取り扱い	65
2-5	鉄骨造における種別Dの部材の取り扱い	68
2-6	鉄骨トラス梁の部材種別	72
2-7	連層耐力壁架構における D_s 値の設定と保有水平耐力計算用の外力分布	76
2-8	基礎梁が取り付けられない基礎の設計上の注意点	84

第3章 保有水平耐力計算に関連する部材の取り扱い

3-1	横補剛材の検討例	91
3-2	横補剛材の計算に関する補足	99
3-3	方杖および火打ち形式の横補剛	106
3-4	冷間成形角形鋼管に取り付くH形鋼梁ウェブの曲げ耐力	110

第4章 部材設計と応力伝達

4-1	屋根面ブレース設計上の注意点（その1：整形な純ラーメン構造）	121
4-2	屋根面ブレース設計上の注意点（その2：ブレース構造や不均一な屋根架構）	131
4-3	ブレースおよびブレース接合部の設計上の注意点	137
4-4	片持ち部材の設計上の注意点	143
4-5	複数本打ち杭の基礎フーチングや偏心基礎における設計上の注意点	147
4-6	杭頭回転固定モデルで計算した地震時杭頭モーメントの処理	153
4-7	べた基礎設計時の注意点	156
4-8	RC板材にFEM解析を適用した場合の配筋の考え方	162

第5章 法解釈と運用

- 5-1 保有水平耐力計算において付加的に制振部材を設置する場合の取り扱い…………… 169
- 5-2 塔状比が4を超える建築物の設計上の注意点…………… 173

第6章 構造計算書と構造図

- 6-1 構造計算書の記載事例…………… 181
- 6-2 構造図作成上の工夫…………… 189

第7章 免震部材の接合部および取付け躯体設計上の注意点（参考）…………… 193

付録 日本建築センターの構造計算適合性判定における指摘事項例…………… 203

索引…………… 211

*本文中、告示は省略して以下のように示します。

昭和55年建設省告示第1792号 → 昭55建告第1792号

平成19年国土交通省告示第593号 → 平19国交告第593号